

東海第二発電所で原子力総合防災訓練を実施しました

当社は、これまでも安全性向上に関するさまざまな訓練を繰り返し行ってきましたが、総合的な対応能力の向上を図るため、平成27年12月21日に総合防災訓練を実施しました。今回も事前に参加者へ事故想定を伝えずに実施し、発電所長が迅速かつ的確な判断を行い、所員が臨機応変に対応できることを確認しました。

東海第二発電所 災害対策本部



災害対策本部長(発電所長)



災害対策本部での活動の様子

指示

報告

国対応ブース(本店内に設置)

国と事業者が連携し、情報伝達が滞りなく行えることを確認

本店 総合災害対策本部

国対応ブースと情報を共有し、発電所災害対策本部への支援、助言



災害対策本部長(社長)



情報共有

情報共有

支援助言

公表を指示

対応を助言

災害対策本部長(発電所長)が、発電所の状況等を迅速かつ的確に判断し、対応を指示

代替注水の実施

火災の消火

代替電源の供給

報告

指示



本店 プレスセンター設置

プレスセンターを通じ事故状況を公表

模擬記者会見の実施

現場での活動

(海水ポンプが故障しても)
①非常用ディーゼル発電機の起動に向けた活動



①ディーゼル発電機の運転に必要な冷却用の海水を汲み上げるため、大容量ポンプ車を水源近くに配備



②ホース延長車により、建屋までの送水経路を確保



③建屋の専用配管口にホースを接続し、冷却水をディーゼル発電機に供給できることを確認

(高圧電源車が使えなくても)
②低圧電源車からの電気の供給



低圧電源車を起動し、原子炉に冷却水を注水するポンプに電気を供給できることを確認

事象の流れ
竜巻注意情報発表

外部電源が喪失し、原子炉が自動停止

①非常用ディーゼル発電機の冷却用海水ポンプが故障、起動不能・原子炉注水機能を喪失 (構内で一般車両火災発生)

②原子炉注水ポンプを回すための電源確保・ケーブル断線により高圧電源車からの電気の供給不可

炉心の損傷

電源・冷却機能の回復

事態収束

◆新規制基準への適合性確認審査については、安全性向上に資するものであり、再稼働に直結するものではありません。今後とも、地域の皆さまに積極的かつきめ細かく丁寧に情報を提供してまいります。◆

現場偵察用ロボット操作訓練

平成27年12月16日～17日、万が一事故が発生した場合に備え、原子力緊急事態支援センター※の現場偵察用ロボットを用いて、発電所内で操作訓練を行いました。今後とも、継続的な訓練により操作技術の維持・向上を図ってまいります。

※:福島事故の教訓を踏まえ、電気事業連合会からの依頼により、福井県にある当社の敦賀総合研修センター内に設置。高放射線量下における発電事業者の要員の被ばく低減に資するため、遠隔操作可能な4機種8台のロボットを用いて、現場状況の調査、空間線量率の測定およびがれきの撤去等の支援を行います。

ロボット寸法(例): 幅約50cm/長さ約90cm/高さ約20cm/重さ約30kg
稼働時間: 操作を連続して約8時間程度実施可能

遠隔操作



コントローラ

ロボットがカメラで撮影している映像を、別室で訓練員がパソコンの画面で確認しながら、コントローラでロボットを操作。



扉の開閉操作(例)



バルブの開閉操作(例)

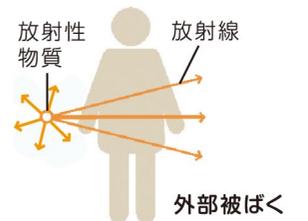
放射線に関する内容について、シリーズでお届けしてまいります。

シリーズ◆放射線◆(その4)

Q. 万が一の際、被ばくを減らすにはどうすればいいのですか?

A. 放射線を受けることを被ばくと言いますが、さまざまな被ばくがあります。受けた放射線の量が同じであっても、どのように被ばくしたかによって人体に現れる影響に違いが生じることがあります。

周辺から放射線を受けることを外部被ばくと言います。空間の放射線量が高いところがある場合は、その場所から離れる、放射線を遮る建物に避難する、周辺を除染することで被ばくを抑えることができます。また、衣服や皮膚に放射性物質が付着した場合は、洗ったり着替えたりすることで被ばくを低減できます。



また、呼吸や飲食によって放射性物質を体内に取り込んだり、皮膚に付着した放射性物質が傷口から体に入ったりすることによって、体の中に取り込まれた線源から放射線を受けることを内部被ばくと言います。マスクの着用などで吸入を防ぐ、汚染した飲食物の摂取制限などを行うことによって、内部被ばくを抑えることができます。



出典:原子力総合パンフレット(日本原子力文化財団)

【安定ヨウ素剤について】

ヨウ素は、甲状腺にて甲状腺ホルモンが作られる時に必要な物質です。原子力発電所の事故により発生する放射性ヨウ素は、体内に取り込むと甲状腺に集まり(内部被ばく)、甲状腺がん等の原因となる場合があります。安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素の体内への取り込みを防ぎ、この時の内部被ばくを低減するために服用します。

「つるし雛展」のご案内(東海テラパーク内ギャラリー)
茨城県のホームページ「観光いばらき」でも紹介されています

開催期間 平成28年1月14日(木)～3月21日(月)
9:00～16:30(最終日は、15:00まで)

お問合せ 029-287-1252

休館日 毎週月曜日(祝祭日の場合は翌平日) 入館無料



お問合せ先
土日祝日を除く 9時～17時



日本原子力発電株式会社

茨城総合事務所 茨城県水戸市笠原町978-25 TEL:029-301-1511
東海事務所 茨城県那珂郡東海村白方1-1 TEL:029-287-1250

当社ホームページ 原電 検索
<http://www.japc.co.jp/>